

研究利用管理番号

23003

研究内容の説明文

臍帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	臍帯血保存時の HLA 検査への NGS-HLA タイピング法の有用性の検討 (HLA 型判定不能臍帯血を用いた NGS-HLA タイピング法の評価)
研究期間	倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日
研究機関名	中部さい帯血バンク
研究責任者職氏名	品質管理部門 副部長 大矢健一

研究の説明

1 臍帯血・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供される場合はその方法を含む。）

臍帯血の HLA 型検査は、日本赤十字社東海北陸ブロック血液センターに依頼して PCR-SSO 法を実施している。しかし HLA の ambiguity 等による判定不能検体が一定の頻度で発生し、調製保存されている臍帯血が公開できない状態にあるため、中部さい帯血バンクでは、これらの判定不能の HLA タイプを決めるため、新たに NGS 法による HLA タイピングが実施されました。

本研究は、臍帯血保存時の PCR-SSO 法と NGS 法のデータを比較し、判定不能検体についてのタイピング結果と遺伝子頻度を調べ、NGS 法の有効性を評価し、今後のさい帯血バンクにおける NGS-HLA タイピンの有用性を調べます。

対象は、2019 年 1 月～2022 年 12 月の 4 年間で 23 件の臍帯血が HLA 型判定不能となった。臍帯血のバリデーションに使用した 3 件および、キメラ疑いの 1 件を除いた 19 件の NGS-HLA タイピング結果を含む HLA 情報を対象とします。

本研究は匿名化されたデータのみを使用するため、これにより個人が特定されることはありません。

2 さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目
保存臍帯血の HLA データ

3 利用する者の範囲

研究責任者名：品質管理部門 副部長 大矢健一

分担研究者：畑佐鎮代、吉村美千子、鈴木艶枝、松本加代子、加藤剛二、森島泰雄

- 4 臍帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、臍帯血提供者が識別される臍帯血・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること
臍帯血提供者又はその代理人は、個人の特定ができる状態であれば、臍帯血の利用を拒否することができます。ただし、学会や論文などで研究成果を発表後の場合は利用の停止はできません。
- 5 4の臍帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法
一般社団法人中部さい帯血バンクが受付の窓口となります。窓口の詳細な連絡先は、下記の本研究に関する問合せ先をご確認ください。

本研究に関する問合せ先

所属	中部さい帯血バンク調製保存部
担当者	大矢健一
住所	愛知県瀬戸市南山口町 539-3 愛知県赤十字血液センター 4 F
電話	0561-85-5222
Mail	kenoya@chubu-cbb.org